視察報告

文教消防委員会

平成27年11月13日～15日
福岡県桂川町「王塚古墳を初めとした史跡の保存と活用」
佐賀県鳥栖市「ヒャーガンサン古墳を初めとした史跡の保存と活用」
三重県伊賀市「消防団の充実強化に向けた取り組み」
奈良県天理市「黒塚古墳を初めとした史跡の保存と活用」

▲実物大の竪穴式石室のレプリカが展示されている国指定史跡である黒塚古墳の展示館（天理市）

桂川町の王塚古墳は、国指定の装飾壁画の古墳であり、年２回の一般公開のため、少しでも多くの人に見ていただけるよう、レプリカ等を展示した古墳館を設置しています。周辺古墳群として広く PR するために、近隣市町と連携も図っていました。

鳥栖市では、古墳の「本質的価値」の検討の結果、現地保存よりも文化財の活用が重視され、都市公園の整備の際に敷地内に古墳を移築し、復元しています。

伊賀市では、消防団と自主防災組織によるリーダー研修の実施や、小中学校で消防団が講義を行うなど、各機関で連携を図り、消防団の充実強化に向け、取り組んでいました。

天理市の黒塚古墳は、国指定を受けたことで整備費用を削減。展示館は文化財課が管理しており、メディア等へ積極的な働きかけをする取り組みを行っているため、年間約１万7,000 人の利用があるとのことで、保存と活用が生かされた政策を行っていました。

本市にも多くの史跡があります。どのように生かしていくのか、関係機関との連携をいかに図っていくのか、具体的な方法について、先進事例を参考に検討を進めていきます。

民生病院委員会

平成27年11月4日～6日
岡山県岡山市「地域包括ケアシステム構築に向けた在宅医療・介護に係る取り組み」
山口県周南市「もやいネットセンター推進事業(高齢者総合相談窓口)」
大阪府大阪市「東淀工場(ごみ焼却施設)」

高齢者が住み慣れた地域で安心して、元気で暮らしていくために必要な支援体制「地域包括ケアシステム」について、岡山市と周南市を視察しました。岡山市は、地域包括ケアシステムの構築において、在宅医療・介護が重要な課題であるとし、在宅医療推進方針を策定。市民が予防、診療から介護まで切れ目のないサービスを受けることができる仕組みづくりを進めています。周南市は、数多くある高齢者の相談窓口を一本化した総合相談体制「もやいネットセンター」を整備。また、民生委員、市民、団体、事業者が連携する地域見守りネットワークを構築し、安心して暮らせる地域づくりを推進していました。本市においても「地域包括ケアシステム」を構築するため、両市の事例を参考に引き続き調査研究を進めていきます。

本市は、ごみ焼却施設の建てかえを計画しており、先進事例である大阪市・八尾市・松原市環境施設組合が運営する東淀工場を視察してきました。東淀工場は効率的な施設である上、市民への施設理解のための取り組みにも優れており、先進的な技術とともにそうした取り組みも含め、今後も調査研究を進めていきます。

▲ごみ焼却施設である東淀工場の先進的な技術や、市民に対する取り組みを調査しました（大阪市）